

(寄稿)

NOMURA

2010 年度診療報酬改定でこうなる！ ～2010 年度診療報酬改定の影響を予想する～

＜ 要約 ＞

2010 年度の診療報酬改定は、地域医療の崩壊が叫ばれる中、政権交代による民主党政権のもと、下記の 2 つの重点課題と 4 つの視点に基づき行われた。

○2 つの重点課題

- ①救急、産科、小児、外科等の医療の再建
- ②病院勤務医の負担の軽減（医療従事者の増員に努める医療機関への支援）

○4 つの視点

- ①充実が求められる領域を適切に評価していく視点
- ②患者からみて分かりやすく納得でき、安心・安全で、生活の質にも配慮した医療を実現する視点
- ③医療と介護の機能分化と連携の推進等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
- ④効率化があると思われる領域を最適化する視点

2008 年度改定での緊急対策では、その効果は十分ではないという論調から、今回の改定では、大幅アップを期待されたが、結果は+0.19%（診療報酬本体が+1.55%、薬価等が-1.36%）と僅かな増加にとどまった。

本稿では、医療機関の類型化を試み、類型化区分ごとに今回の改定によるインパクトを予想した。

なお、本レポートでは、全ての改正内容を網羅されたものではありません。詳細な内容は、官報等にて内容ご確認の上、ご活用願います。

2010 年 3 月 3 日

Healthcare note

(No. 10-05)

寄稿者名：
有限責任監査法人
トーマツ
井上 貴裕

編集主幹：
野村ヘルスケア・サポート
& アドバイザリー株式会社
市川 剛志

野村證券株式会社
法人企画部